指定都市大会　千葉市大会　第一分科会　第一次アンケート結果

１，重点取り組み（現在特に注力している活動はなんでしょうか）

1. 行政との協働・提言活動

- 川崎市　:行政施策勉強会、要望提案活動（市長・教育長・市議会議長と意見交換）
- 相模原市　:代表者会、市長・教育長との教育懇談会
- 静岡市　:市への提言活動

2. 研修・学びの場の充実

- 札幌市　:会員研修（セミナー・交流会）、区 PTA 連合会間の交流
- 堺市　:市 P 主催研修会やイベントの周知、単位 PTA との交流
- 静岡市　:
  ・PTA 運営の手引き・QA 集発行
  ・個別相談対応（LINE・出張相談）
  ・フェスティバル方式の大会開催
  ・専門委員会の再編

3. 交流・連携強化

- 京都市　:幼稚園・小中・高校・総合支援学校の「5 連協」連携
- 名古屋市　:会員・単 P・区 P をつなぎ連携を広げる取り組み
- 堺市　:単位 PTA との交流
- 札幌市　:区 P 連合会間の積極的な相互参加

4. 情報発信・システム整備

- 名古屋市　:情報発信の効率化、確実な伝達システム構築、負担軽減
- 北九州市　:「motto」クラウドシステムの普及・登録者増加
- 静岡市　:LINE 公式アカウント活用

5. 子どもを守る活動

- 広島市　:いじめ防止活動
- 大阪市　:子どもの健全育成を理解してもらえる活動運営

6. 組織課題の見直し・改善

- 神戸市　:協議会の役割の見直し
- さいたま市:使途不明金の解決・再発防止、脱退 PTA の再加入促進、事業再開
- 静岡市　:事業見直し、大会方式の工夫、委員会再編
- 千葉市　:今日的課題への対応

7. 特色ある取り組み

- 静岡市　:親子模型フェス（全国大会発表）、P-1 グランプリ開催予定
- 仙台市　:東北ブロック研究大会（R7 開催）

○川崎市ＰＴＡ連絡協議会
川崎市への要望提案活動です。
子育て世代と行政とで協働し、行政施策勉強会の開催、各校等からの要望提案の収集、自分達で出来ることと行政に要望することの仕分けを行い、子どもたちの教育環境を改善向上する活動です。
要望提案書は、毎年５月に市長・教育長・市議会議長それぞれに手交して各３０分間の意見交換を行っています。
要望提案書には回答書が後日届きますので、それを各校と共有して吟味し、新しい要望提案を加えて次の要望提案書に反映します。
以上により、教育環境向上のスパイラルアップを形成するよう活動しています。
○札幌市 PTA 協議会
会員の研鑽を深めるための研修活動として、セミナーや交流会の開催に注力している。また、会員である区 PTA 連合会間の交流深化のため、各連合会の取組への積極的な相互参加を促している。
○広島市 PTA 協議会
いじめ防止活動
○相模原市ＰＴＡ連絡協議会
代表者会、市長・教育長との教育懇談会
○京都市ＰＴＡ連絡協議会
小・中を越えた幼稚園・高等学校・総合支援学校のＰＴＡがつながった５連協（５校種）としての連携。
○名古屋市立小中学校 PTA 協議会
会員・単Ｐ・区Ｐ相互をつなぎ、連携を広げ、深めるためのポジティブな取り組み
情報発信の効率化と情報伝達を確実に行うシステム構築の取り組み
単Ｐ・区Ｐの負担を軽減する取り組み
○堺市 PTA 協議会
市 P 主催の研修会やイベント等の情報をいかに周知するか。
単位 PTA との交流。
○(一社)北九州市ＰＴＡ協議会北九州市 P
協議会や単位 PTA から保護者に情報発信ができるクラウドシステム「motto モット」を開発したので、システムへの登録者を増やすことに注力している。
○神戸市 PTA 協議会
協議会の役割自体の見直
○仙台市 PTA 協議会
R7.東北ブロック研究大会仙台大会

○大阪市 PTA 協議会
一般会員にも PTA が子どもたちの健全育成に必要であることを理解していただける運営（活動）を目指している。

〇さいたま市 PTA 協議会

この 2 年間は使途不明金の解決及び再発防止に注力してきました。これからは過去に実施していた事業の再開と、市 P を脱退した区や単位 PTA が市 P へ戻ってもらえるような取り組みを、さいたま市全体で推進していきたいと考えています。

〇静岡市 PTA 連絡協議会

①単位 PTA の運営適正化と活性化

⑴「PTA 運営の手引き」及び適正化に向けた QA 集の発行と更新

⑵ 単位 PTA に対する個別相談対応

・市Ｐ連 LINE 公式アカウントを活用した直接対応

・出張市Ｐ連の実施

②市Ｐ連のあり方、事業の見直し

⑴フェスティバル方式を併用した大会の実施

⑵専門委員会の再編

③市への提言活動

④親子模型フェス(日 P 川崎市大会にて事例発表)

⑤Ｐ１-グランプリの開催(2025 年度より)

単位 PTA の活動報告を「P-1 グランプリ」として実施。単なる活動報告ではなく自慢大会とすることで単 P 活動の共有と活性化を図る。

〇千葉市 PTA 連絡協議会

PTA の今日的課題への対応

２，解決への取り組み（課題解決のために現在実施している具体的な取り組みを教えてください。※過去の成功事例があれば教えてください。）

1. 組織・会計の見直し

- 札幌市　：一般社団法人化を含む組織の在り方を検討
- 神戸市　：会則の見直し、組織改変
- さいたま市：使途不明金の徹底解決（会計処理・資産管理・文書管理改善など）
- 静岡市　：運営適正化・活性化、事業の見直し

2. 活動周知・情報発信強化

- 川崎市　：PTA を「慈愛の心のハブ」と位置づけ、会員・非会員に関わらず活用される主体性を広げる
- 相模原市：課題解決事例を代表者会や HP で共有、「市 P 連とは何か」を周知
- 京都市　：PTA フェスティバル（活動掲示・発表・交流）による魅力発信（過去の成功事例）
- 名古屋市：
  ・HP で単 P 活動を共有（交通安全教室、横断旗寄贈など）
  ・市 P 情報を学校の配信アプリで通知、確実化
  ・オンライン会議で負担軽減、経費削減
- 堺市：駅ポスター掲示、SNS 発信、単 P 役員会の見学・情報収集
- 北九州市：クラウドシステム「motto」で活動意義を発信、加入促進
- 大阪市　：
  ・毎月広報紙を発行し活動事例を共有
  ・単 P 要望を集約し市会・教育委員会に提出

3. 研修・交流の場づくり

- 名古屋市：「PTA カフェ」開催で役員同士が悩みや工夫を共有
- 堺市　：年 2 回のリーダー研修会（講演・グループディスカッション）
- 大阪市　：研修会やスポーツ大会を工夫し参加促進

4. 子どもを守る取り組み

- 川崎市　：組織防衛ではなく「子どもを慈しむ心」を大切にした川崎大会開催
- 広島市　：いじめ防止ディスカッションを継続実施し、校内で実践

5. 認知度・役割の浸透

- 広島市　：区連合会とのコミュニケーション強化（協議会の認知度向上を目指す）
- 仙台市　：市協議会の役割を単 P に浸透させる

○川崎市ＰＴＡ連絡協議会
PTA への逆風的な風潮があります。そのような中、組織防衛に走るのではなく、保護者と教師が本来持っている子どもたちを慈しむ心を大切にしたいと考え、川崎大会の趣旨としました。そのメッセージは、多くの方々が受け取って下さったと実感しています。
学校Ｐ・区Ｐ・市Ｐも、ある種の媒体であり慈愛の心や情報・行事等をシェアするハブのようなものと考えています。そのようなことに、時と共に人は変われど気づいて頂き、会員とか非会員とかに関わらず活用したいと思う主体性が育ち広がることを望んでいます。
○札幌市 PTA 協議会
共済事業等を行っている一般社団法人札幌市 PTA 共済会とともに、協議会の一般社団法人化を含めて組織の在り方について検討している。
○広島市 PTA 協議会
継続して子ども達を対象に事業を展開しています。
内容は主にディスカッションでいじめを防止するために必要な行動を都度考え、自校に戻りそれを校内で実践する　というものです
協議会への認知度が低いことが課題であると考え、まずは所属の区連合会とのコミュニケーションを今まで以上にとるようにしています。
まだはじめたばかりなのでそれによってどのような効果があったかは検証できていません
○相模原市ＰＴＡ連絡協議会
単Ｐの課題解決は、代表者会で話題にしたり、運営委員会等で解決事例として紹介してくれたものについてはＨＰに上げていって他の単Ｐの参考になるようにしている。
本協議会の課題解決としては、団体として何をやっているのか「市Ｐ連て何なの？」を配付、デジタルではＨＰにアップしている。
○京都市ＰＴＡ連絡協議会
魅力的な活動を周知する方法に課題がある。
以前は、ＰＴＡフェスティバルを開催し、各校の取組をポスターで掲示することで参考になる活動を自校に持ち帰ることができた。また、ステージ発表や飲食ブースでは、おやじの会などとのつながりを活かし、活発で魅力的な活動をアピールできた。
○名古屋市立小中学校 PTA 協議会
・区Ｐや単Ｐの役員がＰＴＡ活動に関する悩みや工夫について気軽に話せる、市Ｐ主催の「ＰＴＡカフェ」を２回開催した。和やかな雰囲気の中、積極的なコミュニケーションが生まれ、多くのつながりをつくることができた。
・市ＰのＨＰ内に、単Ｐが取り組んだイベントや工夫した活動などを画像付きで投稿できるサイトを設け、広くその活動が共有できるようした。交通安全教室の取り組みや横断旗の寄贈など他の単Ｐの参考になる事例が掲載された。
・メールによる情報配信を見直し、学校現場で広く使われているメッセージ配信アプリと同じツールに市Ｐの情報配信網を整備し、確実な情報の伝達を図った。
・会議を精選し、オンライン参加を増やすことで会議の負担を軽減した。また、市Ｐの諸経費を見直すことでコスト削減を図り、単Ｐから集める会費を削減した。
○堺市 PTA 協議会
・鉄道会社に許可をもらい駅構内でのポスター掲示や、Instagram 等の SNS での情報発信
・単位 PTA の役員会・実行委員会の見学やインタビューを通しての情報収集やリーダー研

修会開催を年 2 回開催し、講演やグループディスカッションでの悩み相談や問題解決に向けてのアドバイス

○ (一社) 北九州市ＰＴＡ協議会

「motto モット」を通じて、PTA 活動の目的や意義について発信を継続し、共感の輪を広げ、役員の担い手不足解消や PTA 加入者の増加を図っていきたい。

○神戸市 PTA 協議会

会則の見直し、組織の改変

○仙台市 PTA 協議会

単位 PTA に対する仙台市 PTA 協議会の役割の浸透

○大阪市 PTA 協議会

・広報紙（大阪市ＰＴＡだより）を毎月 1 回発行紙することにより一般会員にも様々な活動を報告することで、各単位ＰＴＡが自校のＰＴＡ活動の参考にしてもらうようにしている。

・各単位ＰＴＡが教育現場に対して改善を必要と考えていることを市Ｐが集約し、大阪市会や市教育委員会に要望書として提出し、改善に向けて意見交換を行っている。

・従来行っている会員のニーズに応える研修会や会員相互の親睦を図るためのバレーボールやソフトボールなどのスポーツ大会に、少しでも多くの会員に参加してもらえるように実施内容を協議している。

○さいたま市 PTA 協議会

最大の課題であった使途不明金に関して、様々な再発防止策を検討しました。

長期に分かる関与の防止

利益誘導禁止の実効性強化

役割の明確化

会計処理の改善

会計手筒気の順守

特別事業積立金の取り扱い改善

預貯金口座の管理改善

文書管理の改善

固定資産管理の改善

税務申告

収支の改善

→詳細は市 P ホームページを参照ください。

○静岡市 PTA 連絡協議会

「1.重点取組」の①及び②の回答内容をもって代えさせていただきます。

○千葉市 PTA 連絡協議会

単Ｐが事例を持ち寄り、グループ協議を通して改善策を探る

（知ろう!話そう!PTA!・情報交換会　等）

３，教育委員会を含む行政との連携
（行政機関との連携における成果と課題を教えてください。）

成果

- **要望反映・教育施策への影響**
  - 川崎市　：教育プラン改訂、青少年育成活動等へ参画
  - 広島市　：タブレットに相談窓口アイコン設置（いじめ対応）
  - 相模原市　：保護者面接員協力、要望が施策に反映
  - 堺市　：継続的に現場の声を届けている
  - 北九州市　：教育懇談会で幹部職員と直接議論
- **継続的な協議・懇談の場の確立**
  - 広島市　：市教委懇談会・市長表敬訪問を継続。教育委員会の出席も増加
  - 相模原市　：代表者会に教委・校長を交えたセッションを実施
  - 名古屋市　：常任理事会に市教委も参加し、相互の取り組みを共有
  - 仙台市　：教育懇談会、夏季プール開放の共催
  - 大阪市　：重大問題が発生した際には即時協議・対応
- **イベント・研修等の共催・支援**
  - 札幌市　：補助金交付を受け、セミナーや親子事業を実施
  - 京都市　：市Ｐ連活動全般を教育委員会が全面的にバックアップ
  - 名古屋市　：共催イベントを実行委員会形式で円滑に運営
  - 北九州市　：教育委員会と「親子外遊びフェスタ」を共催
  - 仙台市　：研修会の共有
  - 大阪市　：研修会を教育委員会と共催
- **保護者・PTA の行政参画**
  - 川崎市　：行政も住民と同じ立場で協働の意識
  - 神戸市　：行政の会議に保護者代表として参加（ただし減少傾向）
  - 北九州市　：行政会議体・外郭団体で役割を担う

課題

- **会員意見の集約不足**
  - 広島市：懇談会は始まったばかりで、会員からの意見集約・精査が不十分
- **PTA と行政の感覚のずれ**
  - 名古屋市：スピード感や熱意にずれを感じる場合がある
- **参加の減少・継続性の課題**
  - 神戸市：行政会議に出席する保護者代表が年々少なくなっている
- **連携の深まりが必要**
  - さいたま市：現在も情報交換の場を設けているが、回数増加など今後の深化が課題

○川崎市ＰＴＡ連絡協議会

それぞれ立場は違っても、住民の暮らしや教育の大切な場を形成維持する仲間と、私たちも教育委員会や行政も認識しており連携・協働しています。具体的には、Ｒ８年度改訂の川崎市教育プラン制作、青少年問題や育成活動等々の活動に参加しています。

○札幌市 PTA 協議会

札幌市より社会教育関係団体補助金（１千万円）の交付を受け、セミナーや親子ふれあい体験事業等を行っている。また文教施策に関する要望を提出し、意見交換を行っている。

○広島市 PTA 協議会
市教委との教育懇談会を行っています。懇談会では学校現場にある要望を伝え、今後の教育行政に反映してもらうよう訴えかけを行っています。
直近の成果として、いじめに悩む子ども達が身近に相談できる窓口が欲しいと要望したところ、生徒児童に配布されているタブレットに相談窓口に直通のアイコンが設置されました
３年前から市長への表敬訪問を行っています
また同時期から教育委員会との懇談会を設けています。
懇談会では教育委員会側からの出席も年々増え、PTA への重要性が高まっているように感じます。
成果としては懇談会でこちらから出した意見を取り組みの一環として反映していただけたということがあります。
課題としては、懇談会自体はじめて間がないため、まだまだ会員内での意見の集約が不十分であると感じているので、制度として意見の集約、精査ができるようになればよりよい懇談会になると考えています
○相模原市ＰＴＡ連絡協議会
子ども達のよりよい教育環境について、本市Ｐ連として懇談会形式で要望を伝える機会として「市長・教育長を囲む教育懇談会」があり、教員採用面接の保護者面接員として協力をしている。また、年３回ある代表者会のうち１回は教育委員会指導主事、校長を交えてグループセッションを行った。毎年、何らかの形で要望が施策として反映されるようになってきてはいる。
○京都市ＰＴＡ連絡協議会
京都市Ｐにおいては、市Ｐ連活動のすべてにおいて教育委員会と連携しながら活動している。研修会やイベントの開催等において、全面的にバックアップしていただいている。
○名古屋市立小中学校 PTA 協議会
・月１回開かれる常任理事定例会に市教委（生涯学習課）にも参加してもらい、市Ｐの取り組みを伝えるほか、市教委からの取り組みやその方向性を伝えてもらうことで、お互いの情報を共有している。
・市教委との共催イベントでは、実行委員会形式で会合をもち、風通しの良い環境で情報交換、検討を行っていくことで円滑に運営を行うことができた。
・特に課題は見当たらないが、PTA と行政の間で、スピード感や熱意など、感覚のずれが問題になることが見られた。
○堺市 PTA 協議会
・市Ｐ主催の教育長講演会の開催や市長・教育長との面談、教育委員会との教育懇談会
・上記のことを継続しリアルな現場の声を届け続けること
○(一社)北九州市ＰＴＡ協議会
行政の各種会議体（検討会や懇話会）や給食協会等の外郭団体でさまざまな役割を受け持っている。
例年教育懇談会を実施し、教育長以下幹部職員と協議会役員が膝を付き合わせてさまざまな課題について議論している。
R6 年度は教育委員会と合同で「親子外遊びフェスタ」を開催した。

〇神戸市 PTA 協議会
話し合いの場を持ったり、保護者代表として行政の会議等に参加しているが、年々保護者の立場からの出席が少なくなっている
〇仙台市 PTA 協議会
各種研修会の共有，市教委との教育懇談会，夏季プール開放の共催　等
〇大阪市 PTA 協議会
大阪市教育委員会事務局とは様々な分野の会議や共催の研修会を行っており、重大な問題が発生し、早急な対応が必要な場合は即時相談し、問題解決のための協議をしている。
〇さいたま市 PTA 協議会
教育委員会の定期的な情報交換の場として、懇話会等情報交換の事業を実施しています。次年度以降は情報交換の回数を増やす等、教育委員会の連携をより深めようと考えています。
〇静岡市 PTA 連絡協議会
[成果]
①市教育委員会事務局及び市校長会との連携
　令和 5 年度に実施した「PTA 運営の手引き」の制作に当たり、教職員課と校長会の代表を委員とした検討委員会を設置し、教育委員会と先生の意見を取り入れた手引書とした。また、毎年行なっている市Ｐ連主催の児童生徒作品(詩)の表彰事業にあたっては、教育委員会、校長会、学校現場と連携して作品募集から表彰までを実施している。年に 1 回、校長会・教頭会・教職員組合・市 P 連と情報交換や研修を行っている。
②生涯学習推進課と連携した「家庭教育セミナー」の実施
　静岡市予算で行う公募型の市民向け家庭教育セミナーについて、市 P 連と静岡市市民局生涯学習推進課が連携して市内 12 の PTA ブロックでの開催も可能とし、各 PTA ブロックの家庭教育セミナーとして開催している。
③学校教育課との連携
　教育委員会(学校教育課)と連携し、PTA と学校運営に関わる様々な周知事項等について、学校教育課からは学校長へ、市Ｐ連からは単Ｐ会長へと並行した情報発信を行なっている。学校教育課は静岡市 P 連に関することを所管事務としている。市 P 連は学校教育課を窓口に教育委員会事務局各課と連携することができる。
[課題]
地域の教育行政課題については、教育委員会だけの解決が難しくなってきています。市全体で取り組む事業になった際の市→市教育委員会→市 P 連への情報共有が少なくなること。
〇千葉市 PTA 連絡協議会
附属機関の委員として会議に出席。ＰＴＡ（保護者）としての意見を述べる機会

４， 情報交換

（他の協議会に質問したいこと。もしくは取り上げて欲しいテーマはありますか）

〇川崎市ＰＴＡ連絡協議会

前述のようなことを、情報公開したいです。

〇札幌市 PTA 協議会

任意加入問題への協議会としての対応

〇広島市 PTA 協議会

協議会の必要性を問われた際どのように回答していますか

〇相模原市ＰＴＡ連絡協議会

VUCA 時代の中で、これからのＰＴＡ、地方協議会の在り方

〇京都市ＰＴＡ連絡協議会

〇名古屋市立小中学校 PTA 協議会

・部活動の地域移行の現状について

・各市Ｐは単Ｐから市Ｐへの加入届はとっているのか

〇堺市 PTA 協議会

〇各市Ｐの単Ｐとの関わりについて

〇(一社)北九州市ＰＴＡ協議会

抱えている課題と、解決に取り組んだ場合の成功事例、失敗事例を知りたい。

〇神戸市 PTA 協議会

活動内容や協議会の紹介、勧誘等全ての学校が加入してない状況での広報や宣伝のホームページや広報誌以外の方法

〇仙台市 PTA 協議会

単位 PTA や協議会の活動状況，保護者の PTA や協議会に対する意識について

〇大阪市 PTA 協議会

単位 PTA の市Ｐ・区Ｐからの脱会が激増している。同様の事案があれば各協議会の脱会に対する取り組みが知りたい。

〇さいたま市 PTA 協議会

脱退している単位 PTA に戻ってきてもらうための施策

〇静岡市 PTA 連絡協議会

・小中学校統合にあたっての PTA 再編

・少子化、PTA 加入者数の減少に伴う会費収入の減少対策

・これからの市Ｐ連のあり方について

・事務局員の人件費を含めた働き方

・PTA 会費のキャッシュレス集金導入事例

・欠席連絡アプリ等の利用について(市内一律同じアプリ利用か否か、Ｐ連から会員への連絡手段の有無)

・部活動地域移行におけるＰ連の役割

　ＰＴＡ会員（教員を含む）に対するアンケート、市教育委員会との意見交換など実施しているものはありますか

・単Ｐおよび協議会の会計管理のあり方、理想形

・上記に付随して単Ｐ・協議会の事務作業全般の DX 化の検討について

・Ｐ連の運用の上での ICT 活用等はされていますか？
（LINE や GoogleForm でも、利用シーンや使い方など）
・Ｐ連主催の講演会の参加状況について（参加者の多い講演会が実施できている場合は、どんな方法で募集をかけているかなど）